

## 施 設 だ よ り 11 月

今年のカレンダーの残りが2枚となりました。11月は陰暦では「霜月」と言いますが、このところ、朝霜を毎日目にするようになり、冬の到来を感じます。

また、寒暖の差も大きいこの頃ですが皆様いかがお過ごしでしょうか？

さて、いよいよ社会福祉法人清流可部つちくれの家の年間最大の行事『つちくれ祭り』開催

まであと16日、秒読み段階に入りました。

今月はその取り組みの過程についてお知らせします

職員サイドで9月始め、今年の祭りの「目的」や

「ねらい」について会議を行った後、自治会担当の

金子・名越が自治会に、今年は“祭りをするのか”

“するのだったらどんな祭りにするのか” “何がした

いか” “何が必要か” 等々について提案しました。



自治会では、前会長の宏輝さんからバトンタッチされた現会長の幸一さんを始めとする4人

の役員会で、『仲間全員に、何を・いつ・どのように提案するか』の会議を行いました。

『今年も仲間中心(仲間が主人公)の、仲間が考えて、仲間が創りあげていく祭りにしよう』と

決め、その後は各クラスで一つひとつ話し合いを持ち、朝の会や帰りの会で報告し合い、皆で

決定し、実施するという丁寧な、長丁場に亘る取り組みを行なってきました。

その取り組みの中で、スローガンは“えがおいっぱい みんなでちからをあわせるまつり”

“ッショイ!” に、歌は“ありがとうの花” に決まり、毎朝みんなで練習を積み重ねています。

また、今年は“つちくれ祭り新聞<sup>しんぶん</sup>”を作って発行<sup>はっこう</sup>することも決まりました。

準備<sup>じゅんび</sup>の一環<sup>いっかん</sup>として、招待状<sup>しょうたいじょう</sup>も仲間の手書き<sup>てが</sup>で作り、出来<sup>でき</sup>たポスターやチラシも就労<sup>しゅうろう</sup>の仲間たち<sup>ちが</sup>が近所<sup>きんじょ</sup>に掲示<sup>けいじ</sup>したり配布<sup>はいふ</sup>しました。

また、各クラスの出し物<sup>だ</sup>として、さくらは恋ダンスなどの踊り<sup>おど</sup>。のぞみはソーラン節<sup>ぶし</sup>。米ホームは平和学習<sup>へいわがくしゅう</sup>の発表<sup>はっぴょう</sup>。生活介護<sup>せいいかうかいご</sup>のいきいきは「はらぺこあおむし」の劇<sup>げき</sup>を発表<sup>はっぴょう</sup>します。

模擬店<sup>もぎてん</sup>ではさくらが“焼きそば”、のぞみが“カレー”、米ホームが“パンと焼き菓子”を、いきいきは英治<sup>えいじ</sup>さんや彩<sup>あや</sup>さんの描いた絵<sup>え</sup>を使<sup>つか</sup>っての**一筆箋**<sup>いっぴつせん</sup>や封筒<sup>ふうとう</sup>やいきいきメンバーで作<sup>つく</sup>った髪留め<sup>かみど</sup>

や小さなアクセサリ・小物販売<sup>こものはんばい</sup>と、陶芸作品<sup>とうげいさくひん</sup>の展示<sup>てんじ</sup>をします。

グループホームリボンは、日々<sup>ひび</sup>の生活<sup>ようす</sup>の様子<sup>しやうしん</sup>やリボン行事<sup>きゆうじつ</sup>の写真<sup>さくひんてんじ</sup>そして、休日<sup>きゅうじつ</sup>に作<sup>つく</sup>った作品<sup>さくひんてんじ</sup>展示<sup>てんじ</sup>を相談室<sup>そうだんしつ</sup>でおこないます。

このように、19日のつちくれ祭に向け、仲間たちの準備<sup>じゅんび</sup>は着々<sup>ちやくちやく</sup>と進<sup>すす</sup>んでいます。

あとは、保護者<sup>ほごしや</sup>の方々<sup>かたがた</sup>のご協力<sup>きょうりよく</sup>と天気<sup>てんき</sup>だけです。

今年<sup>ぎょうじ</sup>の行事<sup>ぎょうじ</sup>はことごとく雨<sup>あめ</sup>に見舞<sup>み</sup>われたつちくれです。

祭り<sup>とうじつ</sup>当日<sup>ぜ</sup>は、是<sup>ひ</sup>が非<sup>てんこう</sup>でも天候<sup>めぐ</sup>に恵<sup>ねが</sup>まれることを願<sup>ねが</sup>わずにはおれません。

祭りの準備<sup>じゅんび</sup>に取り組<sup>やくわり</sup>む中で、それぞれ<sup>じぶん</sup>が自<sup>じぶん</sup>分の役割<sup>やくわり</sup>を持ち、それを果<sup>は</sup>たす過程<sup>かてい</sup>で、思考力<sup>しこうりよく</sup>を伸<sup>の</sup>ばし、



新<sup>あら</sup>たな自信<sup>じしん</sup>を育<sup>はぐく</sup>み、輝<sup>かがや</sup>ける存在<sup>そんざい</sup>になってくれることを期待<sup>きたい</sup>して当日<sup>とうじつ</sup>を迎<sup>むか</sup>えたいと思います。

『第13回つちくれ祭り』が成功<sup>だい</sup>するよう、保護者<sup>まつ</sup>の皆様方<sup>みなさま</sup>への、当日<sup>とうじつ</sup>までの準備<sup>じゅんび</sup>と当日<sup>とうじつ</sup>の役割<sup>やくわり</sup>へ

のご協力<sup>きょうりよく</sup>を賜<sup>たまわ</sup>りたいと心<sup>こころ</sup>より願<sup>ねが</sup>い申し上<sup>もう</sup>げます。